

パネルディスカッション

コーディネーター



滋賀県立大学 環境科学部 教授 高橋 卓也 氏

京都大学農学部林学科卒、ブリティッシュ・コロンビア大学 大学院資源管理・環境学プログラム博士課程を修了。製紙会社勤務、滋賀県立大学環境科学部講師、同准教授を経て現職。主な研究分野は、環境経営、森林政策・計画、資源・環境経済。滋賀県の森林政策に関する委員会に多数参画したほか、第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会、第50回全国林業後継者大会滋賀県実行委員会の委員を務める。

パネリスト



大滝山林組合 田中 一則 氏

多賀町出身・在住。大滝山林組合職員、一般社団法人kikito 理事・事務局長、多賀森林循環事業協同組合 理事、林災防協会 安全衛生教育インストラクター、東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会 監事等を務めている。大滝山林組合の運営管理を手掛ける一方、企業、学生への普及啓発や環境学習、滋賀もりづくりアカデミー講師、また、職場内での若手職員の指導、育成を行っている。



滋賀南部森林組合 八木 典 氏

大阪府出身、大津市在住。大学在学中に滋賀県を訪れ、琵琶湖と山の豊かさに感動。滋賀県内で「自然循環」を理念とした、国産材で家づくりをする工務店に就職。木材の素材としての魅力を知る。結婚・出産を経て、子育てが一段落したのを機に、再び木に携わる仕事がしたいと思い、2018年より滋賀南部森林組合に就職。1年半現場作業を行った後、現在は森林施業プランナーの見習いとして、山の踏査や、プラン作成、現場管理等を行っている。



森林所有者 横関 隆幸 氏

長浜市木之本町大音在住の森林所有者。大音森林づくり委員会の会長として、大音区の森林所有者を取りまとめ、森林整備の具体的な内容検討や実務作業を進めている。一方、枝打ちが好きで山仕事に通ったり、地域の仲間と原木を集めシイタケを栽培したりと山での活動の幅を広げている。「山高きが故に貴からず 樹有るを以て貴しとなす」この言葉を核心に探求を深める。

